

共生サロンこころん誕生1年で地域福祉フォーラム

11月5日、東川町共生サロンこころん（東町1丁目）で、同所を運営しているNPO（特定非営利活動団体）法人ノーマライゼーションサポートセンターこころんく東川（片山寛美理事長）が開設1周年を記念して



「こころん地域福祉フォーラム2011」を開きました。

共生サロン運営などの先輩格、NPO法人地域生活支援ネットワーク（釧路）理事の日置真世さん（札幌市スクールソーシャルワーカー）が講演。後半は、日置さんをコーディネーターにして、来場者も一緒に座談会。さまざまな人がつながる場所としてのこれらの活動に期待の声が出ていました。片山理事長は「映画上映会を見てみると、さりげない見守りがある。さりげなさ、やさしさにずいぶん助けられた。今後という方向がいいのか、ど

んな関わりがいいのかを試行していきまし」と振り返りました。

こころんは、障害者支援の活動者養成・研修、健康体操教室、映画上映会、食堂事業（昼食）、貸し館事業、まちの教室（ホットケーキ作り、写真教室、カラーセラピー、麻ひもバッグ作り）、リーダー演奏会、茶話会など幅広く事業を展開してきました。

養護学校生徒が町内で実習

東川養護学校（千葉紀行校長）の高等部生徒が10月3日から9日間、町内の公共施設、近くの農家などで清掃、草取りなどの実習活動を行いました。



ツトの洗浄、稲刈り後の稲わら集めなどのボランティア実習をしました。

「校外で働くことで地域社会との関わりを強めよう」と昨年からは始めました。

今年は6月下旬の初夏の作業に続いて2回目。生徒約20人が手分けして役場周辺、B&G東川海洋センター、キトウシ森林公園、学校近くの農家で道路清掃、道路で草取り、水稻用稚苗ポ

に取れました。「ご苦労さま」と声をかけられることも多く、「こんにちは」と大きな声であいさつを返しながら生徒たちの励みになったよう。

ハロウィン衣装分を満喫、「めだかのクラブ」のパーティー

10月23日、農村環境改善センターで「めだかのクラブ」のハロウィンパーティーを行いました。

小学生を対象にした英語クラブです。4歳以上の幼児、小学生約50人が参加しました。みんな妖精、魔女、お姫さまなど、お気に入りの衣装をして大張り切り。初めてのパーティー出演したALTのステイシー・フジカワさん、

カリン・ストロムさんも、森の妖精、魔女の衣装で子供たちと一緒にゲームを楽しみました。

魔女のほうきりレ、お化け屋敷、かぼちゃのデコレーション作りなど、トリック・オア・トリートでキャンディーのプレゼントももらって、年1回のハロウィン気分を満喫しました。

